

## 検診胃部 X 線検査における受診者被ばく線量の比較・検討

当院では以下の臨床研究を実施しております。

### 【研究課題】

検診胃部 X 線検査における受診者被ばく線量の比較・検討

### 【研究の背景と目的】

2023 年 5 月に機器更新により Dose-Manager で X 線照射線量レポートを表示できるようになった。1 受診者毎に被ばく線量の管理が可能となった。

それを利用し、健診における上部消化管 X 線検査の受診者の被ばくが増加する因子を明らかにし、被ばく低減の対策を検討することを目的とする。

### 【研究方法】

検診胃部 X 線検査で得られた過去の情報を用いて研究を行います。

放射線部システムと検診システムから以下の情報を収集し、相関関係や有意差があるか分析を行う。

- ・担当技師、透視時間や面積線量等の被ばく線量
- ・受診者身体測定項目(身長体重、性別、年齢)、受診歴や技師判定結果

### 【研究期間】

土浦協同病院倫理審査委員会承認後から 2026 年 7 月まで。

(2024 年 12 月 2 日から 2025 年 8 月 31 日までに検査を受けた患者様のデータを使用する予定。学会発表は 2026 年 6 月を予定)

### 【予想される利益、不利益について】

検診胃部 X 線検査における受診者被ばく低減に寄与する可能性がある。

### 【個人情報の取り扱いについて】

個人情報については厳重に管理し、学会や論文発表で使用する際には個人が特定されない形で使用する。本研究の目的以外に研究で得られた対象者の情報は使用しない。

### 【研究協力への撤回の自由】

本研究への参加の撤回をご希望される場合は下記の連絡先にご連絡をお願いいたします。

**【利益相反について】**

本研究については特定企業との利害関係はありません。

**【連絡先】**

総合病院土浦協同病院 放射線部 診療放射線技師主幹 木村敦

〒300-0028 茨城県土浦市おおつ野4丁目1-1

電話：029-830-3711（代表）